

DRUG

INFORMATION

2001 No. 19

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成13年12月7日発行

目 次

1. 医薬品の採用・採用中止について	1
－平成 13 年 12 月 6 日の薬事委員会結果－	
2. 院内処方医薬品について	4
3. 院外処方医薬品について	
－平成 13 年 12 月 1 日新規登録薬品－	9

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
イミグラン錠(コハク酸スマトリプタン)	50mg／錠	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
エボザックカプセル(塩酸セビメリン水和物)	30mg／Cp	口腔乾燥症状改善剤	第一
ジブレキサ錠(オランザピン)	5mg／錠	抗精神病剤	イーライリリー
シングレア錠(モンテルカストナトリウム)	10mg／錠	気管支喘息治療剤	萬有
シングレアチュアブル錠(モンテルカストナトリウム)	5mg／錠	気管支喘息治療剤	萬有
ボナロン錠(アレンドロン酸ナトリウム水和物)	5mg／錠	骨粗鬆症治療剤	帝人
モービックカプセル(メロキシカム)	10mg／Cp	非ステロイド性消炎・鎮痛剤	第一
カデックス軟膏(ヨウ素)	〔0.9%〕 40g／本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	鳥居
ヒューマログ注カート(インスリンリスプロ)	300 単位／3mL／筒	インスリン製剤	イーライリリー
ヒーロン液(ヒアルロン酸ナトリウム)	0.85mL／筒	眼科手術補助剤	ファルマシア
マーカイン注脊麻用等比重(塩酸ブピバカイン)	〔0.5%〕 20mg／4mL／A	脊椎麻酔剤	アストラゼネカ
リツキサン注(リツキシマブ)	100mg／10mL／V	抗悪性腫瘍剤	ロシュ
リツキサン注(リツキシマブ)	500mg／50mL／V	抗悪性腫瘍剤	ロシュ

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
トレドミン錠(塩酸ミルナシプラン)	15mg／錠	セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤	旭化成
プログラフカプセル(タクロリムス水和物)	0.5mg／Cp	免疫抑制剤	藤沢
ロルカム錠(ロルノキシカム)	4mg／錠	非ステロイド性消炎鎮痛剤	大正
ドボネックス軟膏(カルシポトリオール)	〔0.005%〕 10g／本	尋常性乾癬治療剤	藤沢
フィブラストスプレー(トラフェルミン)	500mg／本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	科研
アナペイン注(塩酸ロピバカイン)	〔1%〕 20mL／A	局所麻酔剤	アストラゼネカ
ズファジラン注(塩酸イソクスブリン)	5mg／A	子宮鎮痙剤	第一
タゾシン静注用(タゾパクタム Na, ピペラシリン Na)	1.25g／V	βラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	富山化学
デノシン注(ガンシクロビル)	500mg／V	抗サイトメガロウイルス化学療法剤	田辺

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アセチルスピラマイシン錠(アセチルスピラマイシン)	200mg／錠	マクロライド系抗生物質製剤	協和醗酵
アフエマ錠(塩酸ファドロゾール水和物)	1mg／錠	閉経後乳癌治療剤	ノバルティスファーマ
オークル錠(アクトリット)	100mg／錠	抗リウマチ剤	日本新薬
マブリン散(ブスルファン)	10mg／g	アルキル化剤	ワイズレダリー
ナサニール点鼻液(酢酸ナファレリン)	5mL／本	子宮内膜症治療剤	山之内
ヒーロン液(ヒアルロン酸ナトリウム)	0.6mL／筒	眼科手術補助剤	ファルマシア
ヨードチンキ(ヨウ素)	60mg／mL	外皮用殺菌消毒剤	吉田
スマンクス動注用(ジノスタチンスチマラマー)	4mg／V	肝細胞癌治療剤	山之内
スマンクス動注用懸濁用液(ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステル)	4mL／A	動注用懸濁用液	山之内
ドイル注射用(アスポキシシリン)	1g／V	ペニシリン系抗生物質製剤	田辺
ブルタール注(コンドロイチン硫酸・鉄コロイド)	40mg／10mL／A	静注用鉄剤	大日本
ペブレオ注(硫酸ペプロマイシン)	5mg／V	抗腫瘍性抗生物質	日本化薬
マイリス注(プラステロン硫酸ナトリウム)	100mg／V	子宮頸管熟化剤	オルガノン

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名	変更年月
キシロカイン注 → キシロカインポリアンブ	〔0.5%, 1%, 2%〕 20mL／V → 10mL／A	局所麻酔剤	アストラゼネカ	H13.12

※在庫がなくなり次第、変更とします。

院外処方医薬品（追加分）

医薬品名（成分名）	規格・単位	薬品分類	会社名
イミグラン錠（コハク酸スマトリプタン）	50mg／錠	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
エボザックカプセル（塩酸セビメリン水和物）	30mg／Cp	口腔乾燥症状改善薬	第一
キブレス錠（モンテルカストナトリウム）	10mg／錠	気管支喘息治療薬	杏林
キブレスチュアブル錠（モンテルカストナトリウム）	5mg／錠	気管支喘息治療薬	杏林
サリグレンカプセル（塩酸セビメリン水和物）	30mg／Cp	口腔乾燥症状改善薬	日本化薬
シングレア錠（モンテルカストナトリウム）	10mg／錠	気管支喘息治療薬	萬有
シングレアチュアブル錠（モンテルカストナトリウム）	5mg／錠	気管支喘息治療薬	萬有
ゾーミグ錠（ゾルミトリプタン）	2.5mg／錠	片頭痛治療剤	アストラゼネカ
フォサマック錠（アレンドロン酸ナトリウム水和物）	5mg／錠	骨粗鬆症治療剤	萬有
ボナロン錠（アレンドロン酸ナトリウム水和物）	5mg／錠	骨粗鬆症治療剤	帝人
オキサロール軟膏（マキサカルシトール）	10g／本	角化症治療剤	マルホ
カデックス軟膏（ヨウ素）	〔0.9%〕 40g／本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	鳥居
デタントール点眼液（塩酸ブナゾシン）	〔0.01%〕 5mL／本	緑内障・高眼圧症治療剤	参天
ヤクバン20（フルルビプロフェン）	7×10cm／枚	経皮吸収型鎮痛消炎剤	三菱ウェルファーマ
イノレットR注（ヒトインスリン）	300 単位／3mL／筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
イノレットN注（ヒトインスリン）	300 単位／3mL／筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
イノレット30R注（ヒトインスリン）	300 単位／3mL／筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ヒューマログ注カート（インスリンリスプロ）	300 単位／3mL／本	インスリン製剤	イーライリリー
ヒューマログ注キット（インスリンリスプロ）	300 単位／3mL／キット	インスリン製剤	イーライリリー
ヒューマログ注バイアル（インスリンリスプロ）	1000 単位／10mL／V	インスリン製剤	イーライリリー

院内処方医薬品について

＊コハク酸スマトリプタン

Sumatriptan Succinate

【商】イミグラン Imigran

グラクソ・スミスクライン

内用：錠剤（劇） 1錠中 50mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、心筋梗塞の既往歴のある患者、虚血性心疾患又はその症状・兆候のある患者、異型狭心症（冠動脈攣縮）のある患者、脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往のある患者、末梢血管障害を有する患者、コントロールされていない高血圧症の患者、重篤な肝機能障害を有する患者、エルゴタミン・エルゴタミン誘導体含有製剤あるいは他の 5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬を投与中の患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止 2 週間以内の患者

【効】片頭痛

【用】1 回 50mg を片頭痛の頭痛発現時に投与する。効果が不十分な場合には、追加投与をすることができるが、前回の投与から 2 時間以上あけること。50mg の投与で効果が不十分であった場合には、次回片頭痛発現時から 100mg を投与することができる。1 日の総投与量を 200mg 以内とする。

【副】アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状、不整脈、狭心症、心筋梗塞、てんかん様発作、蕁麻疹、発疹、動悸、一過性の血圧上昇、頻脈、徐脈、低血圧、レイノー現象、虚血性大腸炎、悪心、嘔吐、ちらつき、複視、眼振、暗点、視野狭窄、一過性の視力低下、眠気、めまい、肝機能検査値異常、痛み、熱感、倦怠感、脱力感、重感、ひっ迫感、圧迫感、潮紅

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

＊塩酸セビメリン水和物

Cevimeline Hydrochloride Hydrate

【商】エボザック Evoxac 第一

内用：カプセル剤 1 個中 30mg

【禁】重篤な虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）のある患者、気管支喘息および慢性閉塞性

肺疾患の患者、消化管および膀胱頸部に閉塞のある患者、てんかんのある患者、パーキンソニズム又はパーキンソン病の患者、虹彩炎のある患者

【効】シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善

【用】1 回 30mg を 1 日 3 回食後に投与する。

【副】間質性肺炎の増悪、めまい、振戦、不眠、うつ病、嘔気、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、唾液腺痛、唾液腺腫大、消化不良、鼓腸放屁、便秘、心悸亢進、心電図異常、脈拍不整、高血圧、頻脈、呼吸困難、肺浸潤、赤血球減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値低下、白血球減少、頻尿、多汗、発疹、痒痒、ALT・AST・γ-GTP・Al-P 上昇、LAP・LDH・総ビリルビン上昇、肝機能異常、尿中 NAG 上昇、尿蛋白陽性、BUN 上昇、血清アミラーゼ上昇、頭痛、胸痛、倦怠感、中性脂肪上昇、血清カリウム低下、味覚異常、総コレステロール上昇、悪寒、筋肉痛

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

＊オランザピン Olanzapine

【商】ジプレキサ Zyprexa イーライリリー

内用：錠剤（劇） 1錠中 5mg

【禁】昏睡状態の患者、バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、エピネフリンを投与中の患者

【効】精神分裂病

【用】1 日 1 回 5～10mg 投与により開始する。維持量として 1 日 1 回 10mg 投与する。1 日量は 20mg を超えないこと。

【副】悪性症候群、遅発性ジスキネジア、高血糖、不眠、傾眠、頭痛・頭重、めまい・ふらつき、抑うつ状態、性欲亢進、幻聴、立ちくらみ、痙攣発作、構音障害、意識喪失、脱抑制、違和感、感覚鈍麻、記憶障害、自殺企図、空笑、躁状態、知覚過敏、手指しびれ感、独語、もうろう状態、被害妄想、不安、焦燥、興奮、易刺激性、アカシジア、振戦、筋強剛、流涎、ジストニア、ジスキネジア、ブラジキネジア、歩行異常、嚥下障害、眼球挙上、運動減少、下肢不安症、からだのこわばり、舌の運動障害、血圧低下、血圧上昇、動悸、頻脈、起立性低血圧、徐

脈、心室性期外収縮、心房細動、便秘、口渇、食欲亢進、食欲不振、嘔気、胃不快感、嘔吐、下痢、腹痛、胃潰瘍、口角炎、黒色便、痔出血、軟便、好酸球増多、白血球減少、白血球増多、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値減少、貧血、赤血球減少・増多、好中球減少・増多、リンパ球減少、単球増多・減少、血小板減少・増多、好酸球減少、プロラクチン上昇、月経異常、プロラクチン低下、乳汁分泌、乳房肥大、甲状腺機能亢進症、AST・ALT・ γ -GTP 上昇、Al-P・LDH 上昇、ウロビリノーゲン陽性、総ビリルビン上昇・低下、肝炎、蛋白尿、腎盂炎、尿沈渣異常、BUN 上昇・低下、クレアチニン低下、排尿障害、頻尿、発疹、小丘疹、トリグリセリド上昇、総蛋白低下、コレステロール上昇、ナトリウム低下、クロール低下、カリウム上昇、尿糖、高脂血症、糖尿病、水中毒、高カリウム血症、脱水症、低カリウム血症、低ナトリウム血症、カリウム低下、ナトリウム上昇、クロール上昇、トリグリセリド低下、鼻閉、光線過敏症、体重増加、倦怠感、CK 上昇、脱力感、発熱、体重減少、発汗、浮腫、アルブミン低下、グロブリン上昇、A/G 比異常、霧視感、眼のチカチカ、肩こり、骨折、腰痛、胸痛、死亡、低体温、ほてり、末梢性浮腫、随時血糖値 160～200mg/dL、随時血糖値 200mg/dL 以上、糖尿病性昏睡、糖尿病性ケトアシドーシス、高血糖、持続勃起

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【小】未確立

＊モンテルカストナトリウム

Montelukast Sodium

【商】シングレア Singulair 萬有

内用：錠剤 1 錠中 10mg

内用：錠剤（チュアブル錠） 1 錠中 5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】気管支喘息

【用】錠剤 1 日 1 回 10mg を就寝前に投与する。
チュアブル錠 6 歳以上の小児には 1 日 1 回 5mg を就寝前に投与する。

【副】アナフィラキシー様症状、血管浮腫、痒痒、蕁麻疹、肝臓の好酸球浸潤、皮疹、異夢、易刺激性、情緒不安、痙攣、不眠、頭痛、傾眠、消化不良、下痢、腹痛、胃不快感、胸やけ、嘔

気、嘔吐、AST・ALT・Al-P・ γ -GTP・総ビリルビン上昇、筋痙攣を含む筋痛、出血傾向、挫傷、口渇、尿潜血、血尿、尿糖、浮腫

【妊】未確立、有益のみ 【授】慎重

【未・新・乳・幼】6 歳未満：未確立

【貯】遮光

＊アレンドロン酸ナトリウム水和物

Alendronate Sodium Hydrate

【商】ボナロン Bonalon 帝人

内用：錠剤（劇） 1 錠中 5mg

【禁】食道狭窄又はアカラシア（食道弛緩不能症）等の食道通過を遅延させる障害のある患者、30 分以上上体を起こしていることや立っていることのできない患者、本剤の成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低カルシウム血症の患者

【効】骨粗鬆症

【用】1 日 1 回 5mg を毎朝起床時に水約 180mL とともに投与する。服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食（水を除く）並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。

【副】食道穿孔、食道狭窄、食道潰瘍、食道炎、食道びらん、胃・十二指腸潰瘍、嚥下困難、胃酸逆流、鼓腸放屁、口腔内潰瘍、嘔気、便秘、下痢、胃痛、胃炎、胃不快感、消化不良、口内乾燥、腹痛、嘔吐、食欲不振、腹部膨満感、腹部不快感、口内炎、心窩部痛、胃重感、紅斑、蕁麻疹、発疹、かゆみ、脱毛、湿疹、貧血、白血球数減少、血小板数減少、AST・ALT・ γ -GTP 上昇、BUN 上昇、頭痛、めまい、知覚減退、骨痛、関節痛、背部痛、筋肉痛、不眠、血管浮腫、ぶどう膜炎、LDH 上昇、CK 上昇、総コレステロール値上昇、血清リン低下、血清カルシウム値低下、胸痛、倦怠感、血清カリウム上昇、味覚倒錯、血清アルブミン低下、末梢性浮腫、下肢痛

【妊】未確立 【授】授乳回避

【小】未確立

＊メロキシカム Meloxicam

【商】モービック Mobic 第一

内用：カプセル剤（劇） 1 個中 10mg

【禁】消化性潰瘍のある患者、重篤な血液の異常がある患者、重篤な肝障害のある患者、重篤

な腎障害のある患者、重篤な心機能不全のある患者、重篤な高血圧症のある患者、本剤の成分・サリチル酸塩（アスピリン等）又は他の非ステロイド性消炎鎮痛剤に対して過敏症の既往歴のある患者、アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：慢性関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群

【用】1日1回10mgを食後に投与する。1日最高用量は15mgとする。

【副】消化性潰瘍、吐血、下血、大腸炎、喘息、急性腎不全、無顆粒球症、血小板減少、Stevens-Johnson症候群、Lyell症候群、水疱、多形紅斑、アナフィラキシー反応、アナフィラキシー様反応、血管浮腫、肝炎、重篤な肝機能障害、ショック、再生不良性貧血、骨髓機能抑制、ネフローゼ症候群、血圧上昇、低血圧、動悸、腹痛、便潜血、胃潰瘍、嘔吐、悪心・嘔気、食欲不振、消化不良、口内乾燥、口内炎、口角炎、おくび、下痢、鼓腸放屁、食道炎、腹部膨満感、便秘、胃炎、頭痛、味覚障害、知覚異常、眠気、眩暈、錯乱、失見当識、発疹、皮膚瘙痒、蕁麻疹、接触性皮膚炎、光線過敏性反応、眼異物感、眼球強膜充血、耳鳴、結膜炎、視覚障害、霧視、AST・ALT・LDH・Al-P上昇、総ビリルビン値・ウロビリノーゲン上昇、BUN・クレアチニン・尿酸値上昇、総蛋白・アルブミン低下、尿蛋白、尿糖、尿量減少、白血球増加、赤血球・白血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット値・リンパ球減少、好中球・好酸球・好塩基球・単球増加、貧血、浮腫、倦怠感、気分不快、尿沈渣増加、尿潜血、血清鉄減少、カリウム上昇、咳嗽、腋窩・乳房の痛み、悪寒、潮紅・ほてり、発熱、下肢脱力

【妊】不可 【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

＊ヨウ素

【商】カデックス 鳥居

外用：軟膏剤 0.9% (40g)

【禁】ヨウ素過敏症の患者

【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）

【用】潰瘍面を清拭後、通常1日1回、患部に約3mmの厚さに塗布する。（直径4cmあたり3gを目安に塗布する。） 滲出液の量が多い場合は、1日2回投与する。

【副】皮膚の疼痛・刺激感、皮膚炎、瘙痒

【妊・授】長期・広範囲使用回避

＊インスリンリスプロ Insulin Lispro

【商】ヒューマログ Humalog イーライリリー
注射：液剤（劇） 1筒（3mL）中300単位

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、低血糖症状を呈している患者

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】本剤は、持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。1回2～20単位を毎食直前に皮下注するが、ときに投与回数を増やす。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては1日4～100単位である。

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫、アレルギー、発疹、瘙痒感、蕁麻疹、高血糖、血糖値上昇、注射部位の腫脹・瘙痒感・疼痛・硬結・発赤・リポディストロフィー

【妊】未確立、注意 【授】注意

【小】注意

【貯】遮光、2～8℃

＊ヒアルロン酸ナトリウム Sodium Hyaluronate

【商】ヒーロン Healon ファルマシア
外用：液剤 1管（0.85mL）中8.5mg

【禁】本剤の成分又は蛋白系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】白内障手術・眼内レンズ挿入術・全層角膜移植術における手術補助

【用】○白内障手術・眼内レンズ挿入術を連続して施行する場合には、0.2～0.75mLを前房内へ注入する。眼内レンズのコーティングに約0.1mL使用する。ただし、白内障手術又は眼内レンズ挿入術のみを施行する場合には、以下のとおりとする。白内障手術：0.1～0.4mLを前房内へ注入する。眼内レンズ挿入術：眼内レンズ挿入前に、0.1～0.5mLを前房内へ注入する。眼内レンズのコーティングに約0.1mL使用する。○全層

角膜移植術：移植眼の角膜片を除去後に、0.1～0.6mL を前房内へ注入し、移植片角膜を本剤上に浮遊させて縫合を行う。提供眼の移植片角膜のコーティングに約 0.1mL 使用する。

【副】眼圧上昇、炎症反応、嚢胞様黄斑浮腫、角膜浮腫・混濁、前房出血、虹彩新生血管、虹彩後癒着、結膜癒着不全、散瞳、水晶体混濁、浅前房、疼痛、霧視、かゆみ、眼内レンズ表面混濁

【貯】2～8℃、遮光

＊塩酸ブピバカイン Bupivacaine Hydrochloride

【商】マーカイン脊麻用等比重 Marcain

アストラゼネカ

注射：液剤（劇）

0.5%：1 管（4mL）中 20mg

【禁】重篤な出血やショック状態の患者、注射部位又はその周辺に炎症のある患者、敗血症の患者、本剤の成分又はアミド型局所麻酔剤に対し過敏症の既往歴のある患者、中枢神経系疾患：髄膜炎・灰白髄炎・脊髄癆等の患者、脊椎に活動性の結核・転移性腫瘍のある患者

【効】脊椎麻酔（腰椎麻酔）

【用】1 回 10～20mg を脊髄クモ膜下腔に注入する。1 回 20mg を超えないこと。

【副】ショック、振戦、痙攣、異常感覚、知覚・運動障害、血圧低下、徐脈、洞性不整脈、嘔気、下肢しびれ感、動脈血酸素飽和度低下、呼吸困難

【妊】未確立、有益のみ、妊娠後期：慎重

【小】未確立

＊リツキシマブ Rituximab

【商】リツキサン Rituxan ロシュ

注射：液剤

1 瓶（10mL、50mL）中 100mg、500mg

【警】1. 本剤の投与開始後 30 分～2 時間よりあらわれる infusion reaction のうちアナフィラキシー様症状、重度の肺障害、心障害等の副作用（低酸素血症、肺浸潤、成人呼吸窮迫症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック等）により、死亡に至った例が報告されている。これらの死亡例の多くは初回投与後 24 時間以内にみられている。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれ

がある。本剤投与中はバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数等）のモニタリングや自他覚症状の観察を行うとともに、投与後も患者の状態を十分観察すること。特に以下の患者については発現頻度が高く、かつ重症化しやすいので注意すること。(1) 血液中に大量の腫瘍細胞がある（25,000/ μ L 以上）など腫瘍量の多い患者

(2) 脾腫を伴う患者 (3) 心機能、肺機能障害を有する患者

2. 腫瘍量の急激な減少に伴い、腎不全、高カリウム血症、低カルシウム血症、高尿酸血症、高 Al-P 血症等の腫瘍崩壊症候群（tumor lysis syndrome）があらわれ、本症候群に起因した急性腎不全による死亡例及び透析が必要となった患者が報告されている。血液中に大量の腫瘍細胞がある患者において、初回投与後 12～24 時間以内に高頻度に認められることから、急激に腫瘍量が減少した患者では、血清中電解質濃度及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分観察すること。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれがある。

3. 皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）等の皮膚粘膜症状があらわれ、死亡に至った例が報告されている。

4. 投与に際しては、緊急時に十分対応できる施設及び造血管腫瘍の治療に対して十分な経験をもつ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例のみに投与すること。

【禁】本剤の成分又はマウスタンパク質由来製品に対する重篤な過敏症又はアナフィラキシー反応の既往歴のある患者

【効】CD20 陽性の下記疾患：低悪性度又は濾胞性 B 細胞性非ホジキンリンパ腫、マントル細胞リンパ腫

【用】1 回 375mg/ m^2 を 1 週間間隔で 4 回点滴静注する。

【副】アナフィラキシー様症状、重度の肺障害、心障害、腫瘍崩壊症候群、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、天疱瘡様症状、苔癬状皮膚炎、小水疱性皮膚炎、白血球減少、好中球減少、血小板減少、心室性・心房性不整脈、狭心症、心筋梗塞、透析を必要とする腎障害、一過性の血圧下降、重篤な視覚障害、聴覚障害、感覚障

害、顔面神経麻痺、咽頭炎、咳、鼻炎、呼吸障害、喘鳴、血圧上昇、頻脈、心悸亢進、血管拡張、潮紅、末梢性虚血、悪心・嘔吐、口内乾燥、腹痛、下痢、便秘、しぶり腹、発熱、悪寒、瘙痒、発疹、ほてり、蕁麻疹、インフルエンザ様症候群、関節痛、筋肉痛、頭痛、虚脱感、疼痛、浮腫、多汗、体重増加、倦怠感、胸痛、無力症、眩暈、異常感覚、貧血、BUN・クレアチニン上昇、電解質異常、AST・ALT 上昇、Al-P・総ビリルビン上昇、带状疱疹、感染

【妊】未確立、原則不可、やむを得ない場合は有益のみ 【授】未確立、授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃

＊塩酸リドカイン Lidocaine Hydrochloride

【商】キシロカイン Xylocaine

アストラゼネカ

注射：液剤（劇）

0.5%：1 管（10mL）中 50mg

1%：1 管（10mL）中 100mg

2%：1 管（10mL）中 200mg

【禁】〔硬膜外〕大量出血やショック状態の患者、注射部位又はその周辺に炎症のある患者、敗血症の患者 〔硬膜外・浸潤・伝達・表面〕本剤の成分又はアニリド系局所麻酔剤に対し過敏症の既往歴のある患者 <次の患者に投与する場合には血管収縮剤（エピネフリン、ノルエピネフリン）を添加しないこと>〔硬膜外・浸潤・伝達・表面〕血管収縮剤に対し過敏症の既往歴のある患者、高血圧・動脈硬化・心不全・甲状腺機能亢進・糖尿病のある患者、血管攣縮の既往のある患者 〔浸潤・伝達〕耳・指趾又は陰茎の麻酔を目的とする患者

【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔

【用】1 回 200mg を基準最高用量とする。○硬膜外麻酔：100～200mg ○伝達麻酔：30～200mg 指趾神経遮断には 30～100mg 肋間神経遮断には 50mg まで ○浸潤麻酔：20～200mg ○表面麻酔：適量を塗布又は噴霧

【副】ショック、意識障害、振戦、痙攣、異常感覚、知覚・運動障害、悪性高熱、眠気、不安、興奮、霧視、眩暈、悪心・嘔吐、蕁麻疹、浮腫

【妊】未確立、有益のみ 〔硬膜外〕妊娠後

期：慎重

【小】未確立

院外処方医薬品について

平成 13 年 12 月 1 日新規登録薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ヤクバン20(フルルビプロフェン)	7×10cm/枚	経皮吸収型鎮痛消炎剤	三菱ウェルファーマ

＊フルルビプロフェン Flurbiprofen

【商】ヤクバン Yakuban 三菱ウェルファーマ

外用：貼付剤

1 枚（7×10cm：膏体 0.84g）中 20mg

【禁】本剤又は他のフルルビプロフェン製剤に対して過敏症の既往歴のある患者，アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者

【効】下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎（テニス肘等），筋肉痛，外傷後の腫脹・疼痛

【用】1 日 2 回，患部に貼付する。

【副】喘息発作の誘発，瘙痒，発赤，発疹，かぶれ，ヒリヒリ感

【妊】未確立，有益のみ

【小】未確立

【貯】遮光